

鈴木隆道 新風NEWS

2004年 新春号

発行：鈴木隆道新風会 〒153-0044 東京都目黒区大橋2-24-1-302 TEL.03-3414-6180

地方主権、目黒から発信

23区大連合構想 4、5区へ合併し、政令指定都市へ移行

まずは、各区の中で、連携のとれる政策で、福祉・環境・教育の部門で、広域連合又は一部組合の組織を作り、将来合併へ向けての準備をすべきと考えます。同じ施策を区間の壁を越えて協力することにより、効率よく施策を実行に移すことになり、又行財政改革にもつながると確信します。当然ながら、議会の議員定数も大幅な見直しをし、議員定数も半分以下になると考えられます。国と区が直結した政治こそが、住民にとってわかりやすく、政策がすみやかに実行されることにつながります。又都道府県の今の在り方は、見直すべきであると考えます。道州制に移行も含め、明治以来の廃藩置県の制度改革をすべきと提言したいと考えます。



首都東京の在り方が、将来の日本の地方自治のあり方を左右するといっても過言ではありますまい。地方の声を国政にきちつと届け、変えるべき所は変えてゆく、将来に責任のもてる政治の実現こそが今、求められています。教育改革も百年の計として、道徳教育の必要性が急務であり、世界に日本人として通用する若人達に対する教育の場のあり方も問われています。英語教育の必要性を特に感じます。環境問題も日本からEU諸国との連携をとり、技術の発信を含め世界に貢献できる点が多々あり、又国内においても水・土・川等自然を守ることの大切さを政策として実現する必要があると見ます。地方が自立し、財政自主権を確立し、国と地方の役割を明確にし、相互の連携を強化し、責任を果たしてこそ、地方分権が行われた事となります。その為の政策提言と制度改革の提言こそが今、一番必要であると考えます。子供達に明るい未来を手渡す為、夢と希望に溢れる社会を構築するために、お年寄りが生きがいをもつて住める町づくりをめざすことが、今の地方政治の命題であると考えます。今こそ、百年の計としての改革を提言し、そして実践する時であると考えます。

先見性のある創造力と持前の行動力に期待



目黒区長
薬師寺 克一

新年明けましておめでとうございませう。区政を取り巻く状況は、小中高齢化社会への対応や、環境負荷の低減、IT化の急速な進展など、めまぐるしく変化しております。一方で、景気低迷からなかなか抜け出せず、今後も厳しい経済状況が続くことが予想されております。このような時代の変化が厳しい中で、鈴木先生におかれましては、「夢と希望のあるまちづくり」を政治姿勢

の基本として、終始一貫して区政に取り組んでこられました。ここに、改めて感謝申し上げます。さて、区におきまして、昨年の懸案でございました新庁舎への移転が実現し、早一年が経過いたしました。そして本年度は、「新実施計画」及び「新年次別推進プラン」の初年度にあたり、基礎的自治体として、行財政運営の構造改革と健全財政の確立にむけた取り組みの真価が問われる年でもあります。私は、鈴木先生の先見性のある創造力と持前の行動力は、これからの区政運営にとりまして何よりも必要なものであると思っております。今後のご活躍を大いに期待しております。結びに、新風会のみならずのご発展と皆さま方のご健勝をお祈りいたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

鈴木隆道さんに期待と応援を



新風会会長
山崎 登

平成十六年の新たな年を迎え、わが国は内外共に何かと難しい問題を抱え、決して平穏とはいえない事態が私達区民にも向かっているように思えてなりません。昨年四月の選挙には会員皆様のお力添えにもかかわらず前回の選挙より、多数の得票減と思ってもよらない結果に終わりました。今年度の議会の構成を見ても多岐多才の人達が多く選ばれたなかで、厳しい区の財政状況を受けての議会運営が大事になると思えます。鈴木隆道

君はこれまでの議会経験を活かし、区民不在の政治と化し霧の中のような掴まえていられない、もどかしさがないように区政の進展を図られる事に期待しております。区総合庁舎も東部地区に移転して二年を経過して区行政の拠点が決まりました。中目黒GTの完成、上目黒二丁目の再開発の始まり、大橋地区の再開発と山手通りの地下に首都高速道路の建設と都市整備が進むなか、教育では子供の少子化によって中学校の統合による適正配置を進めると共に学校選択制の実施等、目まぐるしく変化して行くなか、ますます議会の責任は重大さを増しております。今後は将来に希望と夢を携える鈴木隆道君に腰を据えて議会で安心して活躍できるように会員皆様の助言をいただきながら一緒に応援して行くと共に将来に向けて頑張ってくれる事を祈ります。